

巻 頭 言

全国の薬学教育課程は、文部科学省から提示された「薬学教育モデル・コア・カリキュラム」(以下、「コアカリ」)に基づいて実施されています。令和5年度入学生までは「コアカリ平成25年度改訂版」、令和6年度入学生からは「コアカリ令和4年度改訂版」が適用されます。両コアカリでは「薬剤師として求められる基本的な資質・能力」として下表に示す10項目(以下、「10の資質・能力」)が提示されています。一方、本学薬学部のディプロマ・ポリシー(卒業の認定に関する方針)で掲げた7つの資質・能力は、コアカリに先駆けて本学独自に策定したもので、コアカリの「10の資質・能力」を包含した内容です。本学薬学部のカリキュラムはディプロマ・ポリシーを卒業時に身につけられるよう構築しています(カリキュラム・ポリシーを参照)。学生の皆さんはディプロマ・ポリシーに掲げた7つの資質・能力を卒業時まで身につけることを目標に学修に励んでください。

文部科学省 薬学教育モデル・コア・カリキュラム 「薬剤師として求められる基本的な資質・能力」		昭和大学薬学部 ディプロマ・ポリシー (卒業の認定に関する方針)
平成25年度改訂版	令和4年度改訂版	
1. 薬剤師としての心構え	1. プロフェッショナリズム	1. プロフェッショナリズム
2. 患者・生活者本位の視点	2. 総合的に患者・生活者をみる姿勢	2. コミュニケーション能力
3. コミュニケーション能力	3. 生涯にわたって共に学ぶ姿勢	3. 患者中心のチーム医療
4. チーム医療への参画	4. 科学的探究	4. 専門的実践能力
5. 基礎的な科学力	5. 専門知識に基づいた問題解決能力	4-1. 薬品の調製、管理、供給
6. 薬物療法における実践的能力	6. 情報・科学技術を活かす能力	4-2. 薬物治療の計画・実践・評価
7. 地域の保健・医療における実践的能力	7. 薬物治療の実践的能力	5. 社会的貢献
8. 研究能力	8. コミュニケーション能力	6. 薬学研究と自己研鑽
9. 教育能力	9. 多職種連携能力	7. アイデンティティー
10. 自己研鑽	10. 社会における医療の役割の理解	

本学の大きな特色である臨床教育、チーム医療教育プログラムは、毎年内容を充実発展させています。臨床での学びの機会は1年次から6年次まで設けられており、4年次の9月から6年次の7月までの約2年間は臨床での実習・研究が中心となります。5年次の臨床実習では患者担当制の臨床参加型実習クリニカルクラークシップを実施しています。5年次の「病院実習2」では本学の附属病院において、1病棟4週間で3病棟をまわり、各病棟で患者を担当しながらチーム医療に参画して実践力を培います。また、精神科での臨床実習(昭和大学附属烏山病

院での「精神医療実習」)を全員必修で行っているのは全国で本学だけです。地域医療に関しても、本学独自の在宅チーム医療教育を体系的かつ段階的に実施しています。病院でも地域でも発揮できるチーム医療実践力を身につけて下さい。

令和5年度からは新たに5年次の臨床実習終了後に「薬学研究実践プログラム」を開講します。昭和大学附属病院の臨床現場で臨床実践能力を高める「症例研究実践コース」、臨床研究能力の基本を身につける「臨床研究実践コース」、各専門領域の基礎的な研究に取り組む「基盤研究実践コース」の3コースから希望に応じて選択することができます。

本学薬学部は薬学教育改革に積極的に取り組み、「至誠一貫」の精神のもと、医・歯・保健医療学部と密接な連携を取りながら、医療の担い手として社会に貢献できる臨床薬剤師を育成する特色あるカリキュラムを実行しています。本学のカリキュラムと環境を大いに活用して主体的に自己研鑽に励み、昭和大学の薬学部生として医療に貢献する能力を身につけてください。この一年間の皆さんの成長を心から期待しています。

令和5年4月

薬学部長 中村明弘